

令和3年第3回定例会(令和3年9月27日)

総務企画消防委員会委員長 (阿部 真一 委員長)

去る9月3日の本会議において、総務企画消防委員会に付託を受けました「議第59号 令和3年度別府市一般会計補正予算(第6号)」関係部分ほか3件について、委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、その経過及び結果についてご報告申し上げます。

まず、「議第59号 令和3年度別府市一般会計補正予算(第6号)」関係部分についてであります。

初めに、職員課関係部分では、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、公共施設の消毒作業等に従事する会計年度任用職員の雇用期間を年度末まで延長することに伴い、報酬等4,667万9千円を計上しているとの説明がなされました。

委員から、任用職員の年齢層について質疑がなされ、当局から、高齢者が大半を占めているものの、20代から70代後半まで幅広い年齢で構成されているとの答弁がなされました。

次に、政策企画課関係部分では、企業版湯のまち別府ふるさと応援寄附金100万円を計上すること及びふるさと納税ポータルサイトの拡充や経費の削減等を目的として、寄附の受付から返礼品の発送までの包括代行業務を見直すことに伴い、委託料の債務負担行為を設定する旨の説明がなされました。

続きまして、財政課関係部分では、主なものとして、競輪事業特別会計の一般会計繰出金1億円の追加により、競輪事業収入が4億円になること及び地方財政法の規定に基づき、一般会計の前年度決算剰余金を別府市財政調整基金に積み立てることにより、基金の年度末現在高見込みが64億1,365万1千円になる旨の説明がなされた次第であります。

次に、防災危機管理課関係部分では、大分県より高潮浸水想定区域に指定されたことに伴い、高潮ハザードマップの作成や配送に要する委託料556万8千円と緊急防災・減災事業債を活用し、鉄輪地獄地帯公園に避難所等を併設した防災用備蓄倉庫を整備すること及びあすべっふ体育館を備蓄倉庫に改修することに伴い、測量設計等委託料2,090万円を計上しているとの説明がなされました。

委員から、ハザードマップの配送先について質疑がなされ、当局から、高潮による浸水が想定される40箇所の自治会に対し、配送するものであるとの答弁がなされた次第であります。

続きまして、議会事務局関係部分では、議会活動の効率化や議案書等を電子化するペーパーレスを推進するため、タブレット端末等の導入に要する経費917

万4千円を計上しているとの説明がなされました。

委員から、本会議や委員会での使用をどのように考えているのかとの質疑がなされ、当局から、次期改選までは議員間で利用格差が生じないように、都度、導入検討委員会の後継となるICT活用推進委員会で検討し、その結果を議会運営委員会に諮り、決定していきたい旨の答弁がなされました。さらに、同委員から、推進委員の選出に関する質疑がなされ、当局から、各会派より1名ずつの選出を願うものであるとの答弁がなされました。

その他、複数の委員から、ペーパーレスの実現に向け、操作に関する支援策を講じるよう要望がなされた次第であります。

以上の予算議案の採決におきましては、当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、2件の条例議案及び1件のその他議案についてであります。

初めに、「議第64号 別府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について」では、働き方改革に伴い、正規の勤務時間以外の超過勤務の上限その他必要な事項を規則で定めることに伴い、条例を改正しようとするものであるとの説明がなされました。

委員から、競輪事業では、業務の縮小が事業収入に直結するため、特例を設けるなど事業担当課と継続的に協議していくべきではないかとの意見がなされ、当局から、下半期は条例改正により開催日数を調整しているが、来年度以降は人員体制等を改善できるよう協議を続けていきたい旨の答弁がなされた次第であります。

続きまして、「議第65号 別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について」では、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための作業に従事した職員に対し、その危険性から特殊勤務手当の特例を定めることに伴う条例改正であるとの説明がなされました。

最後は、「議第71号 市長専決処分について」の関係部分であります。

衆議院議員総選挙の執行に当たり、ワクチン接種業務の遂行に人員を割き、従事員の確保が困難であることから、民間に対する派遣業務委託料等を市長において専決処分したことに伴い、議会に報告し、その承認を求めるものであるとの説明がなされました。

委員から、開票作業における新型コロナウイルス感染症対策について質疑がなされ、当局から、密を回避するため、通常より開票時間は掛かるが、人員を減らす対応を検討している旨の答弁がなされました。

以上2件の条例議案及び1件のその他議案の採決におきましては、当局の説明を適切妥当と認め、全員異議なく原案のとおり可決、承認すべきものと決定した次第であります。

以上が、当委員会に付託を受けました議案に対する審査の経過及び結果についての報告であります。

何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。